

議会だより

No. 123
2024.2.1 発行



MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会
〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
☎049-295-2112

バックナンバー
はこちらです⇒



◎議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

2～3P	新年の挨拶・10月臨時会の結果
4～8P	12月議会ではこんなことが決まりました
9～15P	一般質問13名が登壇

表紙の作品の説明は16ページへ

本年もよろしくお願ひいたします

年頭あいさつ



下田 泰章 議長

新年明けましておめでとうございませう。平素より、議会運営に對する格段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。元日夕方に発生した能登半島地震、1月2日には羽田空港で起きた飛行機同士の衝突事故と新年から次々と想像を絶する報道に悲しみと共に、有事の際に何を準備しておくのか、改めて政治の役割を痛感し新年を迎えさせていただきました。お亡くなりなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

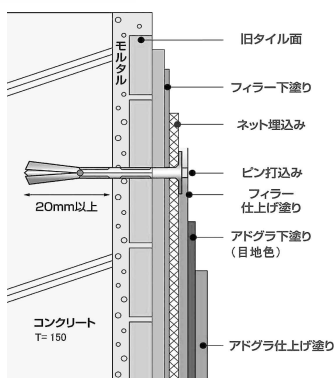
本年、毛呂山町では行政運営の根幹である第六次総合振興計画の策定に取り掛かります。

少子高齢化や人口減少が進行するなか、ICT技術の進展など地域社会は激動する社会情勢のなか日々進展し、変革していきます。新たな計画は町の課題解決や住民サービスの向上に資する政策であるのか。二元代表制の一翼を担う議会が住民との対話を重ね、住民の悩みと声を汲み取りながら議論を重ねてまいる所存でございますので、本年も議会に對しご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。結びに、毛呂山町にとりまして新しい年が、夢と希望に満ちたすばらしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

毛呂山町議会議員互助会より、令和6年能登半島地震の被災地である石川県へ災害義援金10万円を送付いたしました。

令和5年
10月臨時会

庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約(アンカーピンネット工法)締結は否決！



アンカーピンネット工法は外壁タイルの落下防止のため、ピンでモルタルをコンクリートに固定し外壁タイルを樹脂ネット層で補強し支える補修工法

役場庁舎は築後42年経過し、外壁部にひび割れや白華現象等が確認されています。町は、来庁者の安全確保と毛呂山町公共施設個別施設計画に基づいた役場庁舎の長寿命化のため、令和5年3月議会に庁舎外壁を全面撤去する工法で予算を上程し、議案は可決されました。

しかし、工事着手後に町の設計と現場状況との乖離が発見され、工事は中断。町は全面撤去工法からアンカーピンネット工法へ変更し、それに伴う請負代金変更の議案が臨時会に提出され慎重審議を行いました。

変更前

外壁全面撤去工法

・請負金額 2億9427万6400円

変更後

アンカーピンネット工法

・請負金額 2億8206万2000円

反 対 討 論

堀江 快治 議員

今回の件は工事開始からほんの僅かの期間で工法自体の設計変更という極めて異常なことである。庁舎の赤レンガは多くの町民にとっての町のシンボルとなっており、部分改修による安全対策を実施し赤レンガは絶対に残すべきである。そして削減できる財源を町の最重要課題である少子化対策に優先的に活用するべきと考え反対する。

長瀬 衛 議員

タイルの全面撤去はとんでもない。中央公民館もタイルを部分改修し、安全性を確保した。「浮き7%」で大がかりな改修工事は必要ない。タイルの上からアンカーピンネット工法+塗り壁仕上げで多額の税を使うのは支離滅裂だ。最小の経費で赤レンガタイルを維持し、生まれた財源は、子育て支援等に振り向けるべきだ。

岡野 勉 議員

庁舎外壁改修について、正にコンクリートから人への議論が求められている。町民の税金は町民が主体となり決め、有効に使うことが原則だ。躯体がしっかりしている、モルタルに浮きがない、役場庁舎は耐震補強が万全だ。ここでシンプルが一番。一般的な工法である部分改修で行くべきだ。ネット、塗装は余分だ。

佐藤 秀樹 議員

今議案は剥離している部分とアスベストも閉じ込めてしまう工事内容です。将来を考えた時に、いざ何十年か後にアスベストも含めた全面撤去を行うのであれば、今ここで対処した方が毛呂山町の将来の人口推計や財政を考えた上でも未来を担う子供達に課題を残さずに安全対策が図れると私は思い反対討論と致します。

小野 浩 議員

税金を一円も無駄にしない。これが基本である。契約を交わした会社、アンカーピンネット工法での工事をした実績について未確認というこれは安全を第一ということと反するのではないか。部分改修の方が町民の貴重な税金を生かすやり方だと思う。よって提案に反対する。

賛 成 討 論

高橋 達夫 議員

装飾塗材塗仕上げを予算化した井上町長が当選し、それを可決した議決がある以上、崩落の危険性や見栄えが悪いタイルの白華現象の発生の心配が常にある、タイルを残した部分改修より、アンカーピンネット工法による装飾塗材塗仕上げの方が、町民の総意であると我々議員は認めざるを得ません。よってこの議案に賛成します。

荒木 かおる 議員

これまでの説明で「アンカーピンネット工法」が庁舎外壁タイルの剥落事故の防止に対し、十分な持続力と耐久性を持つ事を理解し、様々な事例から剥落防止に対する信頼性が高いものと判断した。役場庁舎は今後40年以上を見据え、安全性を担保されなければならぬ建物。将来に亘り安心・安全な役場庁舎にして頂くことを願う。

澤田 巖 議員

毛呂山町公共施設個別計画長期保全計画編に定める目標使用年数85年を達成する上でも、今後40年以上、この庁舎を使用することを見据え、予防保全の観点から、改修が必要です。安心・安全のため、そして将来のためにも庁舎外壁改修工事をしっかりと進めていただくことをお願いし、賛成討論といたします。

佐島 啓晋 議員

当初の設計図書に基づいた下地モルタル撤去作業は、見積りよりも不測の作業時間を要し、期間内での完成が困難となった。受注業者は設計図書の内容しか把握できないため、一概に受注者の責めに帰すことができない事象であり、全面改修から部分改修の切り替えは、契約の破棄となり、工事着手後における損害賠償も考えられる。

臨時会で否決された庁舎外壁改修工事の変更契約は新工法で可決

庁舎外壁改修工事の工法の変更については、臨時会において否決されたため、12月定例会において内容を変更し上程されました。

庁舎全体を「アンカーピンネット工法」にて改修するという内容から、タイル剥落時に大きな事故につながる可能性の高い庁舎1階部分については、「アンカーピンネット工法」等にて施工し、2階以上の高層階については、浮き部に限り、「アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法」にて補修を行うという内容に変更され、可決されました。

変更前請負金額 2億9427万6400円

変更後請負金額 2億6607万9000円

※工事完了は令和6年7月末を予定しています。



完成が待たれる外壁改修工事

主な質疑

問 今回の混乱の原因は入札にあるのでは。

答 入札に不正はない。

問 劣化部分7%を新しいタイルにした時、いくら安くなるのか。

答 概ね7200万円安くなる。

問 足場代に1日10万8千円かかる。早く工事を進めてほしいが、いかがか。

答 早く進めたい。

討論

～私はこう考える～

反対します

堀江 快治 議員

今回の非常識な迷走ぶりは通常の行政運営では有り得ないことであり、町のシンボルである赤レンガの景観が損なわれることは、多くの住民の意向に反するものである。厳しい財政状況の中で庁舎外壁の劣化状況は全体の7%という事実を踏まえると、多額の予算が必要な工法変更は住民の理解を得ることができないと考え反対する。

岡野 勉 議員

庁舎外壁改修工事請負契約の着眼点は、まず町民の貴重な税金をどう執行するか、どう無駄を無くすかにある。しかし、今回の工法（2～5階）は「浮き部、タイルピン固定」であり、通常工法の「劣化部、タイル張替え（1階も同工法）」に比べ、5倍の工事費を費やす。町の提案は、過度（無駄）な対応であり、反対する。

長瀬 衛 議員

不可解な入札結果、工事中断に至る経緯、変更内容は、前代未聞の事態である。「正しく設計できていなかった」との発言は不謹慎だ。安全性、経済性重視の適正な改修計画を選択すべきで、全面積の5%に5千万円の固定工法は無謀である。63%の赤レンガタイルが残るが、総費用の減額は僅か10%で理解できない。

小野 浩 議員

庁舎外壁改修工事が3か月も中断したのは最初に設計事務所が、誤った検査をしたためです。町案には反対です。今より約7200万円安くなる案を提出すべきです。責任は、工事費を下げようとしないう町長にもあります。2回目の精密調査で、劣化部分が7%と出たのだから部分改修にすべきです。

賛成します

千葉 三津子 議員

昭和55年に新築され約43年経過している役場庁舎。タイル外壁は潜在的に剥落の危険性がある。今後40年以上は庁舎を使用する事を見据えて、1階部分をアンカーピンネット工法で補強し装飾塗材塗仕上げ、2階以上の浮きタイルは樹脂注入固定補修で、高い安全性を確保ができる。

中村 奨平 議員

本議案では、剥落による直接的な被害が発生する可能性が高い1階はピンネット工法、2階から5階は部分補修を行う事によりタイルを残してほしいという方々の意見も尊重される。既に着工している現状を鑑み、これ以上反対することは町の財政負担が増す為、このような事態に陥った責任を明確にした上で進めて頂きたい。

外壁改修工事に附帯決議提案 可決!!

提出者 佐藤 秀樹 議員
賛成者 澤田 巖 議員
平野 隆 議員

趣旨

庁舎外壁改修工事については、当初、築後43年を経過した庁舎建物を毛呂山町公共施設個別施設計画で目指す長寿命化による目標耐用年数85年を達成するため、今後40年以上を見据えた「予防保全」を施すことを目的として、撤去工法にて実施する計画であった。しかしながら、工事着手後に設計図書と現場状況の乖離が判明し、対策工法が変更され、今回の工事により、地階・1階部分の予防保全は完了するものの、2階以上の高層階部分については、浮き部の補修のみを行うこととなった。庁舎建物は行政運営上、最も重要な施設であるとともに、災害時には防災拠点としての役割を担うことから、安全性と機能維持を担保するため、予防保全の措置を優先的に行うべきである。

このことから、議会は、議案第64号、庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約の締結にあたり、下記の事項について強く求め決議を付す。

内容

1. 今回の事業では、工事の中断が続くなど行政運営に混乱を招く結果となった。
その大きな要因は執行部と議会のコミュニケーション不足と考えられる。今後は議会に対し時期を捉えてより丁寧な説明を行い、より完成度の高い議案を提出すること。
2. 設計に対して町から事業者への指示の出し方に疑念の残る結果となった。
今後は町が行う設計業務の発注にあたり、より精度の高い事業計画を立案する事が可能となるよう、発注仕様や発注方法等について研究すること。
また、職員の専門性、能力向上のため、研修などによる人材育成を強化すること。
3. 今回、庁舎2階以上は部分改修となるが、今後いつ起こるかわからない震災に対し、タイルを含む外壁仕上げ材が剥落する懸念が残ると同時にアスベストも残り、町民の安心安全対策に不安要素が残る。定期的な点検とともに、機会を捉え全面的な予防保全を完了させること。
4. 本町は国のスマートシティ事業及び県のスーパーシティ事業に採択されており、再生可能エネルギー技術など将来に向けて取り組むべきである。今後、カーボンニュートラルを目指すためにペロブスカイト太陽電池などの新技術の知見を含め、清水建設やもろやま創成舎などと情報共有し、壁面を利用した発電事業を早期に実現すること。
また、施設改修工法は、再生可能エネルギー設備の導入も見据えて、手戻りが生じない様、計画的な行政運営を行うこと。

以上、決議する。

令和5年12月12日
毛呂山町議会



荒木 かおる 議員
役場庁舎は予防保全の措置は極めて重要。
公共施設個別施設計画では役場庁舎の長寿命化による目標耐用年数は85年。今回の契約変更では2階以上の外壁については、部分改修となるため、補修していないタイルの剥落による事故のリスクが懸念される。定期的な点検とともに、機会を捉え全面的な予防保全を完了させるべき。

わたしは
賛成します

条例改正

12月 議会定例会

特別職・議員の期末手当、職員
の期末・勤勉手当及び給料月額
の引き上げになりました。

町長、副町長、教育長、議会議員の
期末手当については、毛呂山町特別職
報酬等審議会に諮問した際の答申を尊
重し、一般職の期末・勤勉手当の年間
支給率と同様に0・1月引き上げ、年
間支給月数を4・5月としたものです。
また、一般職の給与改定については、
国家公務員の一般職に対する人事院勧
告等に準じ、期末・勤勉手当を合わせ
て0・1月引き上げて年間支給月数を
4・5月とし、給料月額は平均1・23
%の引き上げとなりました。



指定管理者の継続が決まりました



町立図書館



老人福祉センター山根荘



ゆずの里オートキャンプ場

令和5年12月定例会は12月1日から12日までの12日間の会期で開催されました。
今定例会に提案された案件は、条例の制定1件、条例の一部改正9件、補正予算5件、指定管理5件、変更契
約の締結1件、人事1件、発委2件、発議1件の合わせて25件が上程され慎重な審議が行われました。
一般質問は13名の議員が登壇し、活発な質問が展開されました。

賛成します

小峰 明雄 議員

町立図書館

毛呂Bookは、令和3年度
の人口1人当たりの年間図書貸
し出し冊数は、県内で第13位は
評価できます。これも地域に根
差した図書館の運営に従事いた
します皆様方のご努力と創意工
夫の結果であると思われます。
未来を担う子ども達のためにも
公立図書館の運営方針として引
き続き継続していく必要がある
ので賛成いたします。

町立図書館、老人福祉センター
山根荘、ゆずの里オートキャン
プ場の3つの指定管理者について慎
重に審議した結果、いずれも指定
管理者を継続することになりまし
た。

老人福祉センター山根荘

社会福祉法人埼玉医療福祉会
は、くらしワンストップもろハ
ピネス館を開館し、医療・福祉
・介護相談への一元的な対応や
在宅医療・看護・介護の多職種
連携を推進しており評価できま
す。地域に根差した医療機関と
の連携による健康づくりのまち
を進めていくためにも、安心し
て運営を任せられる管理者です
ので賛成いたします。

ゆずの里オートキャンプ場

一般社団法人毛呂山町観光協
会は、予約方法の改善やソロサ
イトの新設等、施設の運営管理
の改善を行い利用者数が増加し
たことは、評価できます。日頃
から利用者の視点に立った運営
に従事いたします皆様方のご努
力と創意工夫の結果であると思
われます。実績を鑑みますと、
引き続き継続していく必要があ
るので賛成いたします。

指定管理等の議案を委員会にて慎重審議を致しました！ 新規の指定管理者が決定！！

毛呂山総合公園及び毛呂山町体育施設の指定管理

- 問** 指定管理にあたり費用はどのくらいかかるのか。
- 答** 約1億3000万円。
- 問** なぜこのタイミングで指定管理にするのか。
- 答** 民間活力の導入を図り効率的な財政運営を行いたい。
- 問** 観光協会の職員の人数では限界があるのでは。
- 答** 現職員の人員配置の見直しと共に新たな職員を募集し人員確保を検討しているとの事。
- 問** 施設の名称を変更したい申し出があった場合はどうなるのか。
- 答** 議会の議決が必要と認識している。
- 問** 今回の入札は何社応募があったのか。
- 答** 説明会に6団体出席頂き、そのうちの2団体が共同事業体を組んで応募頂いた。
- 問** 当面の使用料は今まで通りなのか。
- 答** 条例上の金額を上回ることはない。

指定管理者 歴史香るもろやま事業推進体 ((一社)毛呂山町観光協会・シンコースポーツ(株))
契約期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日 **契約金額** 1億3943万円 (3年間)

滝ノ入住吉農村公園の指定管理



滝ノ入農村公園を現地視察

- 問** 滝ノ入地区やローズガーデン運営者との協定はできているのか。
- 答** 町と滝ノ入地区とは結んでいるが、指定管理が決まり次第、町、滝ノ入、指定管理者、ローズガーデンと協議をする。
- 問** もろびとの館にはエアコンがないが設置は考えているのか。
- 答** 指定管理者が対応する予定。
- 問** 今回のプレゼンの内容は。
- 答** 事業計画では日帰りバーベキューやヨガ、ピラティス、ワークショッップをもろびとの館で開催。スラックラインの実施やうどんやそばの提供、即売会を地元の方も交えて実施する計画があった。

指定管理者 (一社)毛呂山町観光協会
契約期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日 **契約金額** なし(利用料金による管理運営)

新規条例

毛呂山町農業集落排水事業の設置等に関する条例

- 問** 今事業に対する近隣の状況は。
- 答** 県内11か所の内、10か所が来年度実施。1か所は令和7年度実施予定。
- 問** イニシャルコスト及びランニングコストはどのくらいかかるのか。
- 答** 導入時600万円、システム管理料が月々2万円、年間24万円かかる。
- 問** 国からの補助はあるのか。
- 答** 国より財政措置として49%の措置がある。
- 問** 農業集落排水事業に対し、参考となる自治体はあるのか。
- 答** どの自治体も運営に苦しんでいる。
- 問** 町の農業集落排水施設の更新時期はいつか。
- 答** おおむね10年後を想定している。
- 問** 更新時期に合わせ更新費用は準備しているのか。
- 答** 老朽化に対し、経営戦略を立てて進めていく。

補正予算

今回の補正予算（第4号）では、国の総合経済対策による地方創生臨時交付金を活用した事業及び住民税非課税世帯等に対する追加給付に関連した予算が追加されました。

概要は、物価高騰対応重点支援で、住民税非課税世帯等に対する追加給付で対象世帯に一律7万円の給付及び、医療機関並びに運送事業者に対する支援、また、物価高騰の影響を受けた住民生活への支援として、キャッシュレスポイント還元事業の第2弾の予算が追加され可決されました。

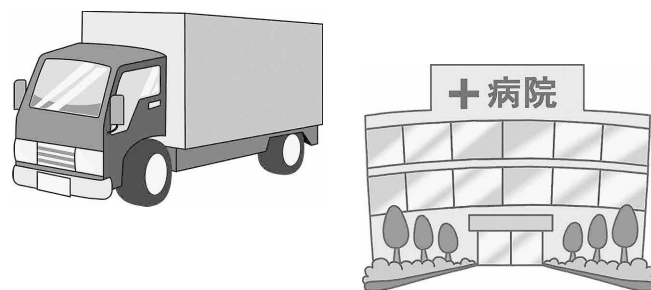
主な事業予算

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
3億2900万円
- ・医療機関支援金
1061万円
- ・運送事業者支援金
552万円
- ・キャッシュレスポイント還元事業業務委託料（第2弾）
6189万6千円

賛成します

千葉 三津子 議員

今回の補正予算は、国の総合経済対策を中心とした予算編成になっている。公明党として物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に一刻も早い支援を行う必要があると年内の予算化を目指して頂きたい旨の要望書を提出していた。今後もスピード感を持った事業展開に期待する。



速やかな支援を

議員のなり手不足解消を目指して!!

発委① 議会議員政治倫理条例の一部が変わります!!

議員のなり手不足の解消を目的とした地方自治法の一部改正に伴い、毛呂山町議会議員政治倫理条例の一部を改正しました。

改正内容は、議員個人による請負について、各会計年度において支払いを受ける請負の対価の総額が300万円を超えない議員の個人事業主を規制の対象から除くこととなり、可決されました。

賛成します

高橋 達夫 議員

地方自治法92条の2では請負に関し、個人の場合と法人の場合を明確に分けているが、町の議員政治倫理条例はこれを分けておらず早急に上位法である地方自治法に従い分けるべきだ。しかし今回の条例改正は議員個人及び関係企業の請負を年300万円までは認めるという1歩前進の改正案だ。よってこの改正案に賛成する。

発委② 請負の透明性の確保へ

議員のなり手不足の解消を目的とした地方自治法の一部改正に伴い、毛呂山町議会議員政治倫理条例の一部改正しました。それに関連し、議会運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、毛呂山町議会議員の請負の状況の公表に関する条例が制定されました。内容は、請負の透明性を確保するため、議員個人の請負について、毛呂山町との間における請負状況を公表するための条例で、可決されました。

公表内容

請負の対象とする役務、物件、契約締結日、契約金額等



一般質問

町政を問う！ ～13名が登壇～

- 定住促進施策
- 教育・子育て環境の充実
- 営農環境

小峰 明雄

- 産業廃棄物と認識できるものの処理
- 町の歴史・文化の保全
- 計画行政
- 学校統廃合
- 町の将来像

堀江 快治

- 教育・子育て環境整備
- 川角駅周辺整備事業

長瀬 衛

- 悪質な訪問リフォーム業者等の対策
- 給食サービス事業の現状
- 毛呂山町在住の外国人の状況

佐島 啓晋

- 町のDX推進
- 今後の土地利用

荒木かおる

- 不妊治療の充実
- おくやみコーナーの設置
- 障がい者福祉の取り組み

千葉三津子

- 県立毛呂山高等学校跡地利用
- 財政計画と個別施設計画
- 川角駅周辺整備事業
- 防災訓練の在り方

佐藤 秀樹

- 小中学校統廃合
- 街づくり
- 給食
- 川角駅周辺開発

中村 奨平

- 学校統廃合
- デマンドタクシー

小野 浩

- 井上町政を問う
- 令和6年度予算編成

平野 隆

- 令和6年度の予算編成
- 町の基金

高橋 達夫

- キャッシュレス決済の普及

澤田 巖

- 小中一貫校（学校統廃合）

岡野 勉

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

医療と福祉の町、生涯活躍のまち構想は町の魅力向上を図る

医療と福祉の町、生涯活躍のまち構想は



小峰 明雄

問 医療と福祉が充実した町、生涯活躍のまち構想による高齢者の定住促進等、ご見解は。

答 住みたい町として認知していただけるように努める。

問 令和6年度の当初予算編成、義務教育の主な重要施策は。

答 連続113回目的一般質問。令和6年度の当初予算編成、義務教育の主な重要施策は、友情都市の木城町に各校2名程度の派遣を予定。中学生学力アップ教室の充実を図る。

問 令和6年度の当初予算編成、若い世代の定住促進施策は。

答 定住促進関連の補助制度の継続実施。都市公園の遊具の更新等、鋭意努めて参る。

問 令和6年度の当初予算編成、小学校トイレ改修は。

答 3校の体育館トイレの洋式化等の改修を検討している。

問 校舎の外壁剥離を過去に指摘したが、目視以外の方法での外壁点検の実施、ご見解は。

答 外壁にクラックの発生や塗装面の剥離等の報告があるが、落下による危険性は低いので、経過観察をしている。

問 令和6年度の当初予算編成、少子化対策・子育て支援対策は。

答 子育て世帯への支援に努め、不妊に悩む夫婦の経済的負担等の助成制度を検討している。

問 遊休農地対策は。

答 増加傾向を少しでも抑える事ができればと考える。

問 農業委員会は、目標・点検を、当該公表の日から3年間とあるが、掲載していない理由を伺う。

答 職員数が足りない、行き届かない、疎かになっている。至急対応する。

問 農地法第3条の農地の売買等の面積要件が廃止、ホームページに下限面積が掲載されている理由は。

答 更新していないので、至急更新する。



医療と福祉が充実した町を町外に情報発信を

大量放置されたカット野菜は何だったのか！

【答】産業廃棄物の可能性があるというふうで県の所管となった



堀江 快治

る。

問 結論として大量放置されたカット野菜は何だったのか。

答 産業廃棄物の可能性があるというところで県の所管となった。

町の歴史・文化の保全

問 現在の大類館や資料館周辺の整理ができていない現状はいかなるものか。

答 町の景観の観点からも改善を図っていく。

問 質問にゼロ回答だが、私たちはカット野菜が大量放置された件をどの様に解釈し、住民に説明すればよいのか。

答 個別案件のため回答を控える

問 来年度の合併70周年に向けて、町の歴史・文化を未来に継承していくべきでは。

答 実施に向けて関係課と協議していく。

計画行政

問 過去から指摘している休止している事業の状況は。

答 個々に協議を進めている。

問 本町に多くの塩漬け状態の事業が存在している原因は何か。

答 事業実施において関係機関との調整や住民合意が重要であると考えている。

学校統廃合

問 本計画案はどのようなコンセ

ンサスを経ているのか。

答 小中学校のあり方検討委員会等で意見交換を実施してきた。

問 学校統合には保護者や地域住民の賛同が必要では。

答 今後説明会を開催していく。

町の将来像

問 極端な生産年齢人口の減少は、町の存続に繋がる。国の少子化対策を踏まえた上で、町の対応と考えは。

答 町として危機意識を持って、効果的な対応策を鋭意検討していく。

小中一貫校の施設形態は

【答】全国の78%が分離型である



長瀬 衛

問 令和3年度から2つの中学校区で小中一貫教育を実施し、上手く進めている。今後も小学校を廃校せず、校舎分離型で行うべきだ。文科省統計でも圧倒

的に施設分離型が多く、学校間距離が2〜5kmという例もあるが、本町の場合はそれぞれの距離はどうか。また、県外視察した義務教育学校等、その多くが統合時点の児童数の平均は110人〜130人程度である。本町の現状は、小学校296人、中学校346人で200人以下の学校は存在しない。

答 平成25年度以降、2中学校の削減となる。

問 大規模改修工事で約11億円に続き、今計画で、また、毛呂小、川角中の校舎増築等に14億円を予定している。突出しており、町民の理解は得られない。

答 分離型78%、一体型13%、隣接型5%である。学校間距離は、200m〜1.4kmである。

問 国のインフラ長寿命化計画は、公共施設を「新しく造るか賢く使う」へ重点化した。町計画は「小学校同士の統合等」とし、公共施設を今後40年間で25%削減目標だが。

答 3小学校の廃校で23・9%削減となる。

川角駅周辺整備事業

問 鉄道会社と大学によってIC専用の南改札口ができたが、事業者に対して一般利用者の利便や改札口の位置について要請したのか。また、出口の道路幅拡張や安全対策が急務だ。

答 バリアフリーを考慮した改札口等を町は了承した。道路対策は地元や大学の協力ができない。毎朝、大学職員などが対応しており、町も道路補修や防犯灯増設等で安全対策に努めている。



小学校は、絶対に廃校にはいけない〈泉野小学校〉



コンプライアンスが問われる放置現場

悪質な訪問リフォーム業者等の対策は

【答】まず、クーリングオフの対象が確認を



佐島 啓晋

に苦情や相談はあるのか。

【問】埼玉県で住宅の保全管理を呼び掛けているが、そのことを利用した悪質な訪問リフォーム業者が増えていて、特に独居の高齢者の不安の声を聞くが、町

【答】町の消費者センターには、本年4月から10月にかけて11件の苦情が来ている。国土交通省では、住宅リフォーム業者登録制度により優良業者を紹介している。悪質業者への警告や名前の公表は、特定商取引に関する法律に基づき行政処分を行う。訪問販売などの場合には、クーリングオフ制度があり、説明な

どを受ける前に適応対象が確認することは対策として有効である。

【問】社会福祉協議会と連携している給食サービス事業とはどのようなものか。

【答】原則65歳以上のひとり暮らしの方を対象に給食を自宅に届け、直接、利用者にお会いし安否確認や健康観察を行うことで、可能な限り利用者の在宅生活を維持することを目的としている。現在は町社会福祉協議会に委託し、週2回、民生委員・ボランティアの方々の協力を得て実施している。

【問】毛呂山町在住の外国籍の住民の状況はどうか。

【答】令和5年11月現在、754人で、10年間で358人増加している。町内小・中学校において外国籍の児童生徒は12名であり、学校生活に早くとけこめるように個別指導などを行っている。生涯学習課では、保護者などの成人外国人の日本語学習は実施していないが、日本語や日本で暮らすための知識を学べる機会と多文化共生の相互理解を高めていく。

今後町のDXをどのように推進していく考えか

【答】住民サービスの向上に向けて鋭意努力していく



荒木かおる

【問】町は今年度からLINEを活用し行政事務のオンライン申請をスタートした。LINEについては、個人情報等の情報の漏えいがあったと報道発表もあ

り、報道を見た住民は町の公式LINEを通じて行政手続き等をするに不安を感じている方もいると思うが、LINEを活用したオンライン申請についてセキュリティ対策はどうか。

【答】本町で採用しているシステムは、LINE社に利用者の個人情報保存されない為、町として個人情報保護については問題無いと認識している。安心して

て利用頂けるものと考えている。

【問】来年度から道路の穴や側溝の蓋の破損、樹木等の道路へのはみ出し、不法投棄等、町民からLINEを活用して役場に通報して頂く取組の検討をしているとのことだが、具体的な運用について伺う。

【答】例えば、道路に穴や側溝の蓋の破損の場合等、スマホで写真を撮って頂き、住民が直接町の公式LINEを経由し役場に通報。この通報は各担当課に届き、内容に応じて現場を確認した上で適切に対応を図っていくことを検討している。

今後の土地利用

【問】現在の町の制度は市街化調整区域に戸建て住宅の建設が難しい状況。土地の有効活用や定住促進の観点から今後の町の土地利用の考えについて見解を伺う。

【答】空き家が増えた関係で立地適正化計画で市街化調整区域に規制をかけたが現在は企業誘致が大幅進み働く場所が出来てきている。また立地適正化計画から7年経ち調整区域の関係で34条11号については見直しの検討を進めていく。



登録は町のホームページからQRコードで



民法改正や災害対策などを悪用する業者に注意！

さらなる不妊治療の充実を

【答】令和6年度新規事業に不妊治療助成制度を検討



千葉三津子

【問】全国的に少子化が進行している中で不妊治療を充実させることは少子化対策の有効な手段であり、不妊治療を希望する方が誰でも安心して治療が受けら

れる環境整備を行うことは大切であり効果的と考えるが如何か。
【答】不妊治療を希望される方が安心して治療を受けられる環境整備において、経済的支援である助成制度の充実は有効であり、本町の少子化対策の取組に繋がるものと考えます。
【問】来年度の新規事業として、不妊治療の助成制度を検討しているそうだが具体的に何う。

【答】保険適用の体外受精・顕微授精・男性不妊治療及び保険適用外の先進医療を助成の対象治療として検討している。また、助成回数の実や若い世代へは助成額を手厚くすることで、経済的負担や精神的負担が軽減され、継続して不妊治療を受けられる助成制度を検討している。
【問】町には埼玉医大が存在している、高度な治療方法などが選択できるメリットがある。町のメリットや地域性を生かすことについての考えを伺う。

【答】身近に受診できる環境があるので、経済的支援により受診のしやすさに繋がるものと考えている。
【問】おくやみコーナーの設置についての考えは如何か。
【答】先行している自治体を参考に検討したいと考える。
【問】予約制度を導入することでスムーズに手続きができるのではと思うが如何か。
【答】前向きに検討していく。
【問】障がい者の方への支援としてタクシー券と燃料費補助を選ぶことができる選択制の導入について何う。



不妊治療を希望するカップルに希望を！

県とのさらなる連携を図るべき

【答】情報共有を密にしている



佐藤 秀樹

【問】県は県立毛呂山高等学校跡地について、令和6年度に校舎解体費用を計上すると聞いているが、情報は入手しているのか。
【答】具体的な内容は伺っていない。

【問】当初予算に解体費用が計上され、可決されれば何らかの動きがあるはず。さらに連携を図るべきと思うが如何か。
【答】引き続き情報共有を密にしている。
【財政計画と個別施設計画】
【問】財政計画は起債と返済のバランスが難しい中、今後の政策をどのように考えているのか。

【答】身の丈に合った財政運営並びに政策展開を図っていく。
【問】全ての政策の鍵は人口動態である。十二分に精査すべき。
【答】将来の人口規模は大きなポイントであると認識しており、継続的に検討している。
【問】川角駅周辺整備の南口にかかる費用の捻出はどのように考えているのか。
【答】国庫補助金と起債を中心とし、その他一般財源と周辺大学による善意の寄附を期待する。
【川角駅周辺整備事業】
【問】国庫補助金に対する申請もある訳なので、詳細設計から先

の工事着工までの期間を前倒しにするという気概がないと前に進まない。町としてどう思っているのか。
【答】補正予算計上も視野に入れ、スピード感をもって事業を進めている。
【防災訓練の在り方】
【問】今年新たな取組としての防災訓練が行われたが今後はより実践的な方向で行った方が良いのでは。
【答】最寄りの避難所を会場とする訓練の実施等、より実際の、効果的な訓練となるよう、検討している。



有効活用を望む旧毛呂山高等学校跡地

10年後の1校当たり生徒数の見込みは

答 小学校176人、中学校179人



中村 奨平

問 令和元年に推計した数値と
のことだが、元年以降の出生数
は激減し、推計よりさらに減少
しているのでは。

答 少し悪い数字が予想される。

問 小学校を統廃合した場合、
年間経費をいくら削減できるか。
答 令和4年度における町負担
経費は小学校1校当たり約2千
万円。しかし、スクールバス導
入等新たに発生する費用もある。

為の教育関連事業・施設や図書
館・公園整備等に使う考えは。
答 毛呂山町の未来を担う子供
達の為に使えるよう努める。
問 インフレの波が学校給食事
業を襲い、使いたい食材も使え
ず工夫しながら献立を作成して
いる。今の質を担保する金額分
を無償化し、別途保護者から千
円ほど頂く事によって、質も量
も良く提供できるがいかか。

答 給食費を無償化する際には、
物価高騰相当分も考慮した上で、
完全無償化したい。必要な予算
確保に鋭意努力していく。
問 巨大資本が入らない限り、
駅前再開発の余地があるの
は川角駅だけである。今後
の展望は。
答 町民や多くの学生が集
える店舗など賑わいの場を
創出する開発を誘導する。
問 送迎車等、北側は依然
危険なままである。町民の
為の北側整備をいち早く進
めて頂きたいが、計画は。
答 南北の駅前広場やアク
セス道路を整備することで
大きな効果が得られると認
識している。学園口整備に
続き、北側の乗降スペース
等、順次進めていく。

施設一体型の撤回を

答 施設一体型と隣接型に



小野 浩

問 県外行政視察で小美玉市立
小川北義務教育学校を視察した
が、町は施設一体型の計画を中
止する考えがあるか。

答 35人学級やコロナ禍など社

会情勢が変化する中で再検討し
た結果、川角中学校区は施設一
体型小中一貫校、毛呂山中学校
区は施設隣接型一貫校の計画案
ができた。住民説明会を開催す
る。
問 開校前年、小美玉市は小川
北中117名、野田小116名、
上吉影小115名、下吉影小50
名である。令和11年の毛呂山町
の予想児童生徒数はどうか。

答 川角中244名、川角小1
77名、光山小149名。
問 施設一体型のメリット・デ
メリットについて。
答 (メリット) 児童生徒に継
続的な指導ができる。(デメリ
ット) 中学校の新鮮さがなくな
る。小学校高学年のリーダー育
成が阻害される懸念。
問 費用はいくらか。
答 川角中学区、約7億7千万
円。毛呂山中学区、約6億2千
万円。スクールバス、約320
0万円。

問 ワゴン車3台体制のほかに
デマンドタクシーを2台運行し
てほしいがどうか。
答 現在のワゴン車3台体
制から5台体制に拡充する
と同時にバス停留所を大幅
に増設し、往復運行を中心
とした定時定路線型運行と
する。
問 足の不自由な方のため
に5台のうち2台をデマン
ド方式に充てていくことは
できないか。
答 高齢化の進行や社会情
勢の変化など町をとりまく
状況を勘案し利便性向上に
ついて継続的に検討を行っ
ていく。



川角中グラウンドに小学校を新設していい教育環境になるのか

単位:人

児童生徒数 見込み (令和元年推計)	令和5年度	令和10年度	令和15年度
毛呂山小学校	331	274	215
川角小学校	338	198	182
光山小学校	216	168	120
泉野小学校	246	191	187
小学校計	1131	831	704

※令和10年度は既に生まれた児童が対象であり、この年代
が転入超過にならない限り推計値は大きく外れない。

5年後に大半が単学級に、10年後には…

町長の考える町の問題は

答 特に少子化問題



平野 隆

問 今までに各議員から様々な一般質問が行われてきたが、どのような形で町政に反映してきたか伺う。

答 各議員からいただいたご指

摘や提案をもとに、住民福祉の増進を図ることができるような事業を選定し掲げている。達成率を数字で示すことは困難だが、一般質問の内容を町政運営に反映させている。

問 町長の考える解決難易度の高い問題とは何か。

答 人口減少、特に少子化問題は取り組むべき最重要課題であり、難易度が高いと認識してい

る。問題解決のためには若者世代の定住促進を図ることが一番の近道であると考え。子育て世代のことを考え小中一貫教育、小中一貫校を推進・整備し、魅力ある町を目指して参る。

令和6年度予算編成について

問 予算規模はどの位になる見込みか伺う。

答 予算査定前のため不確定な部分もあるが現段階では106億円程度を見込んでいる。

問 コロナ禍も終わり通常に戻りつつある現在、人口減少も進行している中で大きすぎる予算規模ではないか。

答 来年度は福祉会館昇降機設置事業や小中学校体育館6校への空調設備事業など大型の建設事業を予定しているため、予算規模が大きくなると予定している。

問 予算編成のスケジュールは。

答 12月中旬から各課の査定を行い緊急性や重要性、そして費用対効果の観点から優先順位に基づき厳しく事業選択をし、最終的には2月上旬頃に予算の原案を作成していく。



若者の定住促進を

令和6年度の目玉事業は何か

答 川角駅南側駅前広場等の詳細設計である



高橋 達夫

問 令和6年度の個人町民税の見込み額は。

答 生産者人口の減少等により均等割、所得割とも減少の見込みである。

問 企業誘致が進み法人税の増額が期待されるが見込み額は。

答 令和5年度に比較し増額を見込んでいる。

問 固定資産税は大幅な増額が見込めるがどのくらいの増か、特に償却資産は注目されるがどのくらいの増か。

答 固定資産税は約1億5千万円の増を見込んでいる。うち償却資産は4千万円増である。

問 企画財政課長にお尋ねするが、税金が増収になると地方交付税が減額になる。そして町では企業に固定資産税額の半分を奨励金として出している。トータルでいくらの減収になるのか。

答 想定される普通交付税と奨励金の金額から算定すると約4千万円程度のマイナスになる。

問 来年度子育て支援事業はどのようなものを予定しているか。

答 今年度高校生まで拡充した子ども医療費無償化事業の継続や都市公園に遊具の計画的な更新などを考えている。

問 町も町も単年度会計主義を取っているが、基金は複数年にまたがり政策を実行できる。町でも財政調整基金をはじめ12種類あるが、その期限と総額は。

答 期限の定めはない。総額は28億2500万円である。

問 土地開発基金は土地の先行投資の為のお金であり、今の時代は必要ないのではないか。また時代にマッチしていない基金もあるが見直しの考えはあるのか。

答 早期に見直しを考える。



新しく開設された川角駅学園口と拡幅される道路

デジタルデバイドの解消が急務

行政として出来ることを推進していく



澤田 巖

問 令和5年物価高騰対策として国より交付金を受け、その配布方法としてペイペイと毛呂山町並びに毛呂山町商工会がコラボ、9月1日から9月30日まで

答 の期間で実施された「ペイペイで毛呂山町を応援しよう」キャンペーン。3週間の間に3億5千万円以上の経済効果があつた。他の自治体でも同様のキャンペーンを実施していたが中小企業を中心に対象としている。毛呂山町は大手企業をも対象としているが、その意図は。

問 このキャンペーンは好評で終了予定日の8日前に終了した。

答 電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響を受けている生活者に対する支援及び町内事業者のキャッシュレス化の促進を図るこ

問 とだったが、生活者に対する支援を優先させ企業の大小を問わず町内の店舗を対象とした。

答 町内の中小企業などにも補助金を巡らせるのも重要では。

問 約300店舗が参加。中小企業が8割大手企業が2割の割合。町内13事業所で新たにキャッシュレス化が実施出来た。今後

知していく予定である。

問 町内企業にも導入を進めていく。

答 デジタルデバイス問題は今後大きな格差となり解消に向けた施策が必要。公民館事業のスマホ教室を広報紙やホームページ等で周知していく予定である。

問 キャッシュレス決済が出来ない人が2割引きで支払いが可能。一方で対応したくても出来ない人が割引がない、いわゆるデジタルデバイド（情報通信技術を利用できる者と出来ない者の格差）の解消を目指すべきであり、行政として出来ることはあると考えるが。

答 デジタルデバイス問題は今後大きな格差となり解消に向けた施策が必要。公民館事業のスマホ教室を広報紙やホームページ等で周知していく予定である。

町全体で教職員30名が削減される！

答 県費16名、町費14名、校医10名減少する



岡野 勉

問 12月議会に「学校統廃合」の編成計画（案）が出された。

答 計画案には「小中一貫教育が目指すもの」として学力や体力の向上を図る、とある。しかし

問 学校統廃合で1クラス当たりの児童・生徒数は増加する。正に少人数学級に逆行する。

答 また、毎日の徒歩通学がバス通学では自然豊かな毛呂山町の体力の低下は目に見えている。

問 令和11年度のクラス数は、小学校が28クラスで22クラスが30人以下学級で問題はないと考えている。また、体力低下の問題では朝マラソンなどの活動を引き続き取り入れて行く。

問 毛呂山町の不登校児童生徒数は10年前13名から、今年度は58名と約5倍に増えている。

答 問題なのは全国の新聞報道だが約4割近くの不登校児童生徒が「相談や支援」を受けられていない状況が分かった。

問 いま学校は一人でも多く先生が必要だ。ところが毛呂山町は逆に学校統廃合で人為的に16名の県費の先生を削減するとした。

答 9月議会で答えなかった町費教職員、学校用務員、事務員、学校支援員などはどうなるのか。



子育て支援に逆行する学校統廃合！（川角小）

表彰

◎人間郡町村議会議長会表彰
感謝状

小峰 明雄 議員
(前会長)

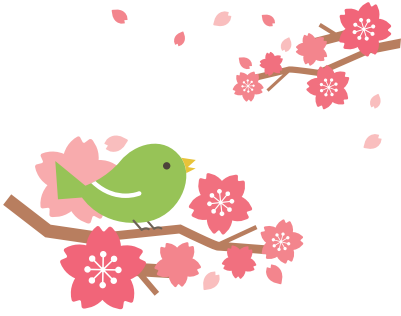
◎毛呂山町表彰
有功表彰

佐藤 秀樹 議員
(在職12年以上)

人事

◎監査委員(再任)

行平 克也 氏
毛呂山町大字大谷木
昭和30年10月生



傍聴席

10月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
10月24日(火)	32名
合計	32名

12月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
12月 1日(金)	0名
12月 4日(月)	8名
12月 5日(火)	12名
12月 6日(水)	9名
12月 7日(木)	5名
12月12日(火)	29名
合計	63名

表紙の作品

第4回観光協会 観光フォトグランプリより

題名『夜のキャンプ場』

夜のキャンプ場の雰囲気が最高だったので少しでも伝えたいと思い撮った写真です。毛呂山町ゆずの里オートキャンプ場はスタッフさんも丁寧で設備が整っており初心者やファミリーに特におすすめです。また遊びに行かせてもらいます。

撮影者 石井 一義さん

撮影場所 ゆずの里オートキャンプ場

●議案の審議結果(10月臨時会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案	議員名	中村 聖平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 蔵	佐藤 秀樹	荒木 光	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	審議結果
変更契約	庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約の締結	×	○	討	×	○	討	○	○	×	×	○	×	×	議	否 決

●議案の審議結果(12月定例会)

議案		議員名													審議結果	
		中村 聖平	佐島 啓晋	小野 浩	平野 隆	澤田 蔵	佐藤 秀樹	荒木 光	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	下田 泰章	
新規 条例	農業集落排水事業の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	議	原案可決
一部 改正	町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
	職員の給与に関する条例・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例・職員の特殊勤務手当に関する条例・重度心身障害者医療費支給に関する条例・老人福祉センターの設置及び管理に関する条例等・国民健康保険税条例・手数料条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計（第3号）・国民健康保険特別会計（第2号）・水道事業会計（第1号）・介護保険特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正 予算	一般会計（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	原案可決
	総合公園及び体育施設・滝ノ入住吉農村公園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
指定 管理	図書館・老人福祉センター山根荘・ゆずの里オートキャンプ場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議	原案可決
変更 契約	庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議	原案可決
人事	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同 意
発委	議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	議会議員の請負の状況の公表に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
発議	議案第64号庁舎外壁改修工事請負契約の変更契約の締結に対する附帯決議	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	議	原案可決

あとかき

昨年の世相を漢字1文字で表す漢字は「税」。

振り返ると増税議論が活発に行われ、またインボイス制度やふるさと納税など、税に関する話題の多い一年でした。物価高が続く、不安な日々が余儀なく襲ってくる中、新たな紛争も起き、世界各国も不安定な情勢が続いております。毛呂山町に目を向けますと、依然として少子高齢化に歯止めが利かず、今後、学校の統廃合や高齢者介護など様々な課題が山積しております。そのような中、重要な事は基本に忠実になる事であり、長期展望の計画を今、誰のために何を目的に行うのか、町民に「ありがとう」と言われる政策の実現に向け、今年も職員と議論を重ねていきたいと思っております。今年一年が町民皆さまにとって素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。

佐藤 秀樹

編集委員

委員長 澤田 蔵
副委員長 荒木 光
委員 中村 聖平
佐島 啓晋
小野 浩
佐藤 秀樹

アドバイザー

(議長) 下田 泰章